

FISUワールドカップ ボクシング57kg級

原田 銅メダル



準決勝でトルコ代表選手と対戦する原田

国際大学スポーツ連盟(FISU)が主催する格闘技の世界大会「FISUワールドカップ・コンバットスポーツ」(旧世界大学選手権)が9月22日から10月2日まで、トルコで開催され、ボクシング競技の男子57kg級でボクシング部の原田周大(法3・豊国学園高)が、銅メダルを獲得した。

優勝を目標に強化合宿でフィジカル強化に取り組んだという原田。「海外の選手相手にも当たり負けすることがなかった。戦い方次第で勝てると感じた」と手応えを口にした。「この結果を今後の糧にしたい。全日本連覇、来年のオリンピック予選や世界選手権に向けてキャリアを積んで、勝てる選手になりたい」と目標を語った。(山縣龍人・法3)

野々村 2種目制覇

1000円 1500円

国内開幕戦 最高の滑り出し

全日本スピードスケート距離別選手権大会 10月21〜23日、長野市・エムウェーブ



今シーズンの国内開幕戦で、野々村太陽(経営1・白樺学園高)が男子1000円と同1500円で初優勝を果

した。2日目の1500円を1分45秒73で制した野々村。最終日の1000円は、中盤から徐々にスピードアップすると、終盤に一気にギアを上げ、1分8秒65でゴールした。野々村は「トップクラスの選手たちと戦っていきけるように頑張っていきたい」と今季の目標を語った。(小田島美玖・文2)

実力を発揮したローラースケート部



女子総合 インカレ連覇

全日本学生ローラースケート選手権大会 10月8〜22日、江戸川区・水辺のスポーツガーデン

女子がスピード部門で1位、ホッケー部門で3位となり、総合優勝。インカレ連覇を達成した。

男子も同じくスピード部門で1位、ホッケー部門で3位となったが、総合は準優勝に終わった。

男子総合は準優勝

女子スピード部門の200円タイムレースは、高萩嬉ら(文4・光丘高)が1位、高萩紗ら(文2・光丘高)が2位と、昨年と同じく高萩姉妹がワンツーフイニッシュ。高萩嬉らはタイムレース4連覇を飾った。1600円リレーでも南澤奈穂(文1)も同じくスピード部門で1位、ホッケー部門で3位となったが、総合は準優勝に終わった。

女子S 出澤 惜しくも準優勝

女子D 大島・永道ペア ベスト4

全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部) 10月20〜23日、滋賀県・YMITAアリーナ

女子シングルスで出澤杏佳(文2・大成女子高)が決勝に進出したが、3-4と惜敗し準優勝。ダブルスでは大島奈々(文4・愛知みずほ大瑞穂高)・永道麻依加(文4・希望が丘高)ペアがベスト4となった。

団体ベスト8

全日本学生剣道優勝大会 10月30日、大阪市・エディオンアリーナ大阪

北海道教育大、大東大を破り、3回戦でベスト8入りをかけて駒大と対戦した。1-1で代表戦にもつれ込んだが、主将の櫻井隆登(経営4・東海大付熊本星翔高)が決勝で近大に敗れたものの、ベスト8入りした。

55kg級 岡本が初優勝

全日本大学レスリング・スタイル選手権大会 10月19〜20日、世田谷区・駒沢総合体育館

55kg級で岡本景虎(経営4・和歌山北高)が初優勝を挙げた。この大会での専大勢の優勝は5年連続となった。岡本は12月の日本選手権の出場権を得ることに努

健闘6位

全日本大学ゴルフ選手権競技 10月25〜28日、石川県・片山津ゴルフ倶楽部



初開催の大会で、専大が6位となった。予選を勝ち抜いた全国の24大学が、4日間の合計スコアを競った。専大は、福住修(経営2・明德義塾高)らが健闘し、上位16校による決勝ラウンドへ。決勝では小田祥平(文1・開志国際高)の活躍が光った。

果敢に挑みベスト4



日本選手権水泳競技大会(水球競技) 10月7〜9日、江東区・東京辰巳国際水泳場

水球日本一を決める舞台に出場した専大は、初戦でインターハイ優勝校の明大中野高に快勝。準決勝で3連覇中の王者、IKAI Kingfisher 74に敗れたものの、ベスト4に輝いた。

記録コーナー

- ◇バレーボール部
 - ▽秋季関東大学リーグ戦(9月3日〜10月22日) 6勝5敗 11位【サブ賞】甲斐孝太郎(文3・日南振徳高)【ブロック賞】千葉貴世(経済1・東北高)
 - ◇フェニックス部
 - ▽関東学生選手権大会(10月11〜21日)【男子エペ団体】3位【女子エペ団体】3位【女子エペ個人】成田琉夏(文4・聖霊女子短大付高) 11位

和田歩(経営3・杉並学院高)が「決勝で上位争いができたことは、良い経験になった」と話すと、福住は「この悔しさをバネに、来年の関東大リーグ戦で結果を残したい」と語った。